

都田西小学校 人権教育目標

「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校を目指して

- ・一人ひとりのよさを認め合い、励まし合い、共に伸びていく子を育てる。
- ・自他の人権を尊重し、思いやりのある子を育てる。

【 児童の感想より 】

「みんないっしょ」のがくしゅうで、わたしは、つよい人もよわい人も、どんな人も、おなじたいせつないのちをもっていきっているんだということがよくわかりました。 1年 いわくに さらさ

「みんないっしょ」のがくしゅうで、わたしは、みんなでなかよくたのしくたすけあえるようにがんばりたいとおもいました。1年 あまの しずく

「いじめやいじわるは、だめ。いいことをすれば、いいことがかえてくる。そう、みんなともだちになればいい!」とぼくは、おもいます。 1年 しまむね りと

サリーが、言えてよかったですね。わたしは、はずかしくて、はっきり大きな声で言えませんが、がんばって言えるのは、すごいと思いました。 2年 小まつ りお

いっぱい人がいる人前で勇気を出すのは、すごくドキドキすることだけど、サリーみたいに、なかよくなるために勇気を出すことも、とても大切なことなんだなと思いました。 2年 きく名 ふうが

自分からみんなとなかよくしていくことがたいせつだと思いました。これからはこまっている人がいたら声をかけて、なやみを聞いてあげたいです。 2年 田ちの るき

私が困っている時や不安な時に「頑張って!」と励ましてもらえた時に、大切にされていると感じます。友達が失敗してしまった時には「大丈夫だよ」と声をかけています。 3年 池戸 葵葉

まわりの人に気遣ってもらったとき、大切にされていると感じます。人に手をかしてあげたり、なぐさめたりしながら人を大切にしていきたいです。 3年 榎本 翔

「ちがいを受け入れるには」の学習をして、みんな「ちがい」があるのだから、そう思って相手の話をよく聞き、相手の立場になって考えて、その中で、同じところや良いところを見つけていくとよいと思いました。 4年 盛田 志穂

人権の学習をして、ぼくにもできることを考えました。友だちが悩んでいるときに相談にのってあげたり、低学年にも優しくしてあげたりし、みんなが安心して学校にいけるようにしていきたいです。 4年 新家 聡馬

町には体の不自由な人のためにスロープやエレベーターがあり、困っている人が使えるのは、あらためて良い取り組みだと思いました。これから私も困っている人がいたら勇気を出して声をかけていきたいです。 5年 谷口 菜月

授業を通してぼくは、困っている人を安心させる方法は、たくさんあるということに気がしました。もし、その場にいたら、自信をもって安心してもらおう方法を考えて、助けていきたいです。 5年 森 悠悟

「あなたはどう思いますか」の学習をして、これからは身の回りに困っている人やなやんでいる人がいたら、まず味方になりそういう人の気持ちを楽にしてあげたいと思った。 6年 三浦 瞭征

「あなたはどう思いますか」の学習をして、一人ひとりが、ちがう意見をもっているから、それを受け入れないのではなく、そういう考えもあると、とらえていく事が大切であると分かった。 6年 田中 洋介